大崎生涯学習センター

「鳴子」が火星の地名に

火星の小クレーターに「Naruko」と命名

米国地質調査所(U.S.Geological Survey, 略して USGS)の天体地質ホットトピックス (USGS Astrogeology Hot Topics 2008 年 1 月 22 日)によれば、火星の南半球にある小さなクレーターが「Naruko」と命名された。命名は 2008 年 1 月 18 日付。火星地形の命名事情に詳しい広島県廿日市市のアマチュア天文家で東亜天文学会の佐藤健(たけし)氏が、これを東亜天文学会機関誌「天界」2008 年 7 月号に報告した。

USGS ウェブサイトに掲載された「Naruko」の由来は「Former town in Japan(日本の以前の町)」。佐藤氏から、「地名大辞典」で同音の地名をあたった結果、該当するのは1つだけで、しかも合併の事実と「Former(以前の)」という記述がよく符合するため、大崎の鳴子以外には考えられない、との見解をいただいた。

大崎生涯学習センターの問い合わせに対し、国際天文学連合(International Astronomical Union, 略してIAU)の火星命名タスクグループ(IAU Task group for Mars Nomencrature)」の長(Chairman)で、「IAU惑星系命名ワーキングループ(IAU Working group for Planetary System Nomencrature)」のメンバーでもあるブラッドフォード・スミス(Bradford A. Smith)博士から、「確かに、有名な温泉地である鳴子にちなんで命名した」との回答があった。スミス博士からは、直径60km以下の小さな火星クレーターについては、世界中の人口 10 万人未満の小さな町名が候補となり、ある程度無作為に抽出しながら、地理的・国家的・文化的な多様性を保つという視点から命名している、という説明があった。

佐藤氏によれば火星地形命名のプロセスは次の通り。アメリカの政府機関である USGS が、命名する火星地形や名前の選定リストの管理等を IAU から委託されている。これを IAU の火星命名タスクグループと惑星系命名ワーキングループが審査し、合格したものが、IAU に正式に採用されるという手順である。

これまで火星クレーター名には、Saheki(アマチュア天文家・佐伯恒夫氏)、Miyamoto(天文学者・宮本正太郎博士)の2人の日本人、Wassamu、Tsukuba、Kagoshima など9つの日本の地名が登録されており、「Naruko」を加えると日本に関係のある火星のクレーターはこれで12個となった(資料1)。なお、火星クレーター「Saheki」と「Miyamoto」をIAUに命名申請したのは、前述佐藤健氏である。

クレーター「Naruko」は、南緯 36.25 度、西経 161.8 度、直径 4.4km のクレーター。「シレーンの海」の近くにあるが、望遠鏡を使っても見ることはできない。また、火星は 2008 年中は 夕方西の低空にあって、観測には適さない。次回火星が見ごろとなるのは1億km弱まで接近する 2010 年の年初となる。

宮城県北部の旧玉造郡鳴子町は温泉地として全国的に有名である。豊富な泉質と源泉数を有し、昔から東北の湯治場として非常に名高い。春は新緑、夏は避暑地、秋は紅葉、冬はスキーなど一大観光地にもなっている。平成 18 年 3 月 31 日に古川市、三本木町、松山町、田尻町、鹿島台町、岩出山町と合併して大崎市鳴子温泉地域となった。鳴子温泉地域の平成 18 年 3 月 31 日の人口は 8363 人で、大崎市全体では 138,402 人。

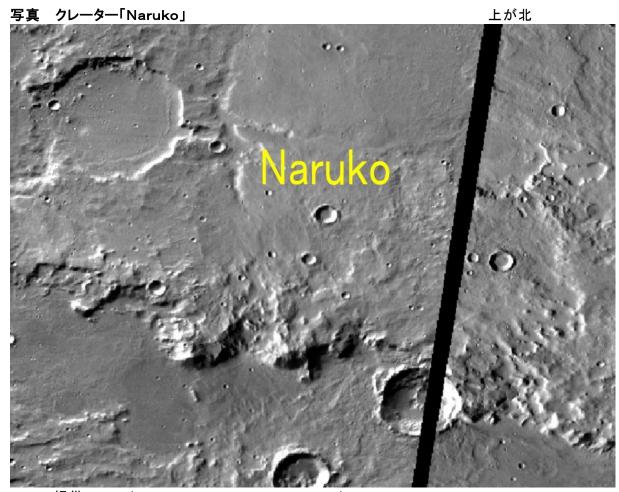
資料1 日本に関係のある火星クレーター名

クレーター名	直径	登録年	由来
(人名)			
Miyamoto	160km	2007-12-18	Shotaro; Japanese astronomer (1912–1992).
Saheki	85km	2006	Tsuneo; Japanese amateur astronomer (1916-1996).
(地名)			
Aki	8.1km	1979	Town in Japan.
Bise	9.8km	1976	Town in Okinawa.
Kagoshima	1.5km	1979	Japanese launch site.
Kin	8.3km	1976	Town in Japan.
Naruko	4.4km	2008-01-18	Former town in Japan.
Ohara	10.8km	2006-09-14	Town in Japan.
Ome	2.9km	1988	Town in Japan.
Ōmura	8.4km	1976	Town in Japan.
Tsukuba	1.8km	1979	Japanese mission control site.
Wassamu	17.5km	1976	Town in Japan.
(取り消したクレ	-タ- 名)		
Tōno	10km	1976	Town in Japan.
(後に弦坐力し二カーが左左した)ことが判明したため取り当し			

(後に該当クレーターが存在しないことが判明したため取り消し)

http://planetarynames.wr.usgs.gov/

ちなみにクレーター以外では Kasei Valles (火星谷)という地形名も登録されている。



提供:USGS(United States Geological Survey) http://planetarynames.wr.usgs.gov/images/naruko.pdf より



おおさき星の会・佐々木一男氏 撮影 (2005年10月12日22h32m)

写真 鳴子温泉郷

大崎生涯学習センターが 2007 年秋撮影)



リンク

- 1 米国地質調査所(U.S.Geological Survey) http://www.usgs.gov/
- 2 USGS Astrogeology Hot Topics http://astrogeology.usgs.gov/HotTopics/
- 3 火星のクレーター一覧(USGS)

http://planetarynames.wr.usgs.gov/jsp/FeatureTypesData2.jsp?systemID=4&bodyID=8&typeID=9 &system=Mars&body=Mars&type=Crater,%20craters&sort=AName&show=Fname&show=Lat&s how=Long&show=Diam&show=Stat&show=Orig

参考文献

- 1 佐藤健 東亜天文学会「天界」2008年7月号「火星のクレーターNarukoの命名」
- 2 佐藤健 東亜天文学会「天界」2006年5月号「火星の佐伯クレーターの命名」

このレポートを作成するにあたり東亜天文学会の佐藤健氏に多大な協力をいただいた。

文責・問い合わせ 大崎生涯学習センター 振興係 遊佐 徹 電話 0229-91-8611 Email palelle07@palette.furukawa.miyagi.jp